

もっと学びたい人へ (7)

❖ ❖

第7課までに、名詞クラスのクラス3からクラス8までのシルシを見てきましたね。

| | |
|---------------|-----------------------------|
| (クラス3 / クラス4) | m- / mi- |
| (クラス5 / クラス6) | ji- / ma- |
| (クラス7 / クラス8) | ki- / vi- |
| | (ch- / vy-) |

この内、名詞クラス3/4とクラス5/6のシルシは指大詞のシルシ、クラス7/8のシルシは指小詞のシルシになります。以下で見てください。

❖ .. ❖

また、シルシ‘ki-’で、「～風に、～流に」という意味の副詞を作ることができます。これについても一緒に見ておきましょう。

❖ ❖

◆ 指大詞(名詞クラス3/4・5/6)

名詞クラス3/4とクラス5/6のシルシは、「大きい」や、「異様な」といった指大詞の意味を表わすこともあります。

((例1)) **kisu** / **visu** 〈ナイフ〉
 (クラス7) (クラス8)

→ **jisu** / **majisu** 〈大型ナイフ〉
 (クラス5) (クラス6)

→ **msu** / **misu** 〈超大型ナイフ〉
 (クラス3) (クラス4)

((例2)) **mtu** / **watu** 〈人〉
 (クラス1) (クラス2)

→ **jitu** / **majitu** 〈巨人〉
 (クラス5) (クラス6)

→ **mjitu** / **mijitu** 〈異様な人〉
 (クラス3) (クラス4)

例2の名詞クラス3/4で、‘mjitu’、‘mijitu’の間に‘-ji-’が入っているのは、他の語と同じ語形にならないよう、区別するためです。

